

太田東西かわら版

おんころころ せんだりまとうぎ そわか

2020. 7

コロナ禍こそ 「マーヤ」とともに



7月5日（日）、群馬県で〈麻亜耶&アシュール〉広めてくださっている葉月薬局さんのお客様のために勉強会を実施。コロナうつが蔓延する関東。不要不急の外出は自粛すべきでしょうが今こそ長崎から上京して〈絶対安心の母性〉を発露する、「必要急用」の外出タイミングです。

すでにコロナ前からマーヤとともに歩んでくださっているお客様で
店内は満席。

初対面にもかかわらず、最後まで熱心に聴講してくださいました。

およそ病気の原因は、不安・恐れ・怒り・絶望・虚しさといった心の問題。
昨今のコロナ騒動しかり、生きている限りそれらは避けられない。
そうした負の感情を発生しても、常に消去していくことはできる。

そのためには **<気分づくり>** が最も大切。

自分をいつも **<いい気分>** に保つ意識を持つこと。

麻亜耶&アシュールはそのためにある。

嫌なことを聞いても、嫌なことを目にしても
麻亜耶&アシュールを飲んで

「まあ〜いいや！」 の気分になる。

マーヤの語源は、「まあ〜いいや！」。

何があっても受け入れる生き方。

「考えたって仕方がない」「なんとかなる」「なるようになる」
この境地に到達すると、瞬時に気分も変わります。

気分が良いほうに変われば、全身の緊張はゆるみ、肩の力が抜けて
笑顔が増えて、ぐっすり眠れるようになります。
結果、免疫力（感染防御力）が高まって、コロナをはじめとするウイルス・
病原菌に対して恐れることはなくなります。

テレビのニュースやワイドショーを見て「どこで何人増えた」と
知ったところで健康増進にはなりません。
PCR 検査を繰り返したところで、免疫力は上がりません。

情報を入手することも大切ですが、健康をキープするには
「捨てる」「忘れる」「アップデート」。こちらがはるかに重要。
いい気分を保つ、ご機嫌であるために。

不安と恐怖をあおるメディアからの洪水のような毎日の情報。
不安・恐怖を除去して〈絶対安心〉をキープする、そのフィルターが
〈麻亜耶&アシュール〉と考えてほしいと思います。

質疑応答も含めた約2時間の勉強会の後。
皆さん、“マーヤスマイル” 😊 に変わっていました。



人を明るく楽しくいい気分にさせる。
それが今の医療（西洋医学）には足りません。

体と心の関係を重要視しない今の医療だからこそ、コロナを必要以上に
恐れる日本人が多いのかもしれない。

待合室では皆、暗〜く無表情で、マスクして、うつむいています。
体調が悪い人たちが集まる場所、それが病院ですから、明るくなれない
笑顔になれないのは当然でしょう。

「病は気から」。だから、病気がなかなか治らない人が多いのかも？

病院に足しげく通う多くの人たちは
根本から病気を治すことを目的にしているようですが・・・

検査を受けて、薬をもらって、医者に診てもらってという繰り返しの行動
の中で、健康回復という結果よりも、安心感を求めていると感じます。

その安心感はマーヤの〈絶対安心〉とは違います。

マーヤの安心感は、人から与えてもらうものではなく
自分の内側に、自分で築き上げていくもの。

何十年と病院に通院しても、すべて「お医者様任せ」ならば
患者サイドは、何の学びも気づきも得られません。

肝臓がんで通院しながら、「肝臓が自分の体のどこに位置しているのか？」
それすら知らない患者もいるという事実。
それでほんとうに病気が治る、治せるのでしょうか？

病院や医者に依存する姿勢では
健康に対する意識も知識も身につかない。

その意識や知識だけではなく、

〈気分づくり〉

病気の治癒・予防にはとても大切。

どうしてこんな健康の基本的な事を知らない
実行しようとならない日本人が多いのか？
「医者も知らないから」、です。(笑)

でも、私と同様に葉月薬局の砂山三千代先生は
それを重要視しているからこそ、麻亜耶を
群馬で広めてくださっているわけです。

